

エコトピア



第4号

contents

F-NEWS2

2度目の総会
平成17年度の予定
総会出席者の声

特集

滋賀の環境学習にふく追い風
.....4

活動のご報告.....6

水環境・お魚調査

会員のすがお.....7

彦根市環境保全指導員
連絡会議

井戸端掲示板.....8



大変お待たせいたしました！
2年目に入り新しくなった
環境フォーラム湖東情報交流誌
「エコトピア」
これからもよろしくお願いたします！



子どもたちの感動をもう一度...

2度目の総会

新たな旅立ち

平成17年度総会が開催されました。今回は総会、そして、同時に行われた基調講演の様子を紹介します。

- 平成17年3月19日（土）
- 13：00～
- 彦根市立南地区公民館にて

今後の目標と計画

仁連孝昭会長

環境フォーラム湖東が産声をあげてから1年と数ヶ月がたちました。地域の環境の実態を知り、地域の環境への理解を深めるために行動することを目的に、環境フォーラム湖東が設立されました。

昨年度は子どもたちが中心になってセミの観察を通じて地域の環境を知り、またその観察の結果を地図に残しました。今年琵琶湖博物館とWWFジャパンが共同して取り組んでいる「お魚調査」を実施します。昨年度のセミ



の調査を通じて、身近な自然の豊かさに驚かされました。残念ながら、参加者が地域的に偏っていたため、湖東地域全体をカバーすることになりませんでした。おおまかにはセミを通じた湖東地域の環境の一側面が分かりました。お魚調査では、私たちの周りの水路、川、田んぼにどんな魚がいるか楽しみです。魚を通して自然環境の実態に触れてみましょう。

私たちの周りの自然環境を調べることから、地域の環境への理解を深め、それをみんなのものにしていくこと—これが環境フォーラム湖東がめざしていることです。行動に参加することが楽しく、その成果が蓄積され、またそれがみんなのものになる、そのような活動を進めていきましょう。

議事

- 平成16年度事業報告
- 平成16年度収支決算見込み
- 並びに監査報告
- 平成17年度事業計画
- 平成17年度収支予算
- ロゴについて
- ホームページについて



2

基調講演

びわ湖流域の淡水生態系の保全のために

■つなぐ役割

生物多様性の保護などを目指して活動をしているWWFジャパンの水野さんに講演をしていただきました。

「博物館などにとっては常識的なことでも一般市民にとっては常識ではないことがあります。例えば、よかれとおもってビオトープによそから持ってきた生き物を放してしまったり…。こうならないようにお互いの協力が必要なのです」

いろいろな市民団体が活動している滋賀県ですが、まだまだ横のつながりは弱いといわれています。

それぞれが「熱い思い」をもって行動しているのに、それが結果としておかしな方向に行かないように、正しい知識を共有していくことが必要になります。湖東地域においては、この各個人・団体・行政・学校・事業所などをつなぐ役割を担うのは環境フォーラム湖東となります。

■得意な分野をいかす

「企業であれば出資、博物館は情報、市民は数と行動力。プロジェクトに参加する市民は楽しむだけであとは他の専門家にまかせておけばいいと思います」

個人でできることと博物館でできることは当然違います。そこで、それぞれの得意な分野をいかしていくことが大切です。多くの人々が楽しく参加できるように工夫していくことにより、より多くの情

報を得ることができるのだそうで「いないという情報も大切な情報なのです。これは地元の人が一番良く知っている情報ですね」とのことでした。また、「楽しまないと長続きしないです」と事業を続けていくためにも、「がんばる」よりも「楽しむ」が重要だということ学びました。

「人と魚との関係が強い地域なので、楽しく元のつながりを取り戻してほしいです」

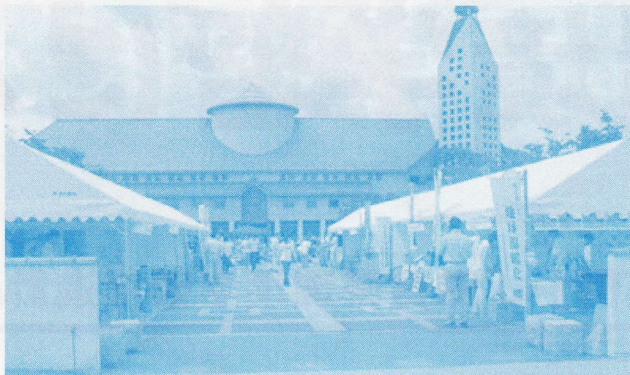


WWF ジャパン
自然保護室

水野 敏明氏

17年度年間計画

湖東地域環境シンポジウムの開催



昨年に引き続き、滋賀県立大学を会場に楽しく環境活動の様子が伝わるようなシンポジウムを企画していきます。

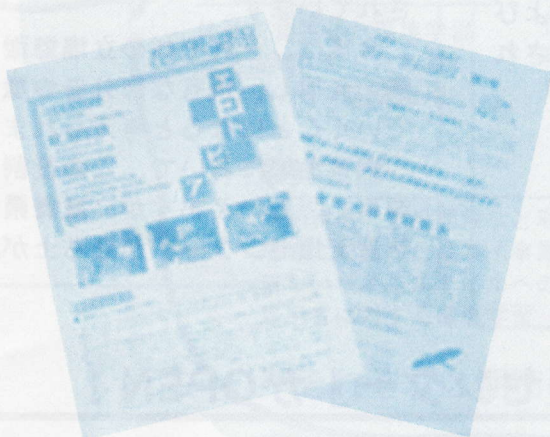
日時：9月3日（土）10時から16時

調査研究



「身近な水環境の全国一斉調査」と「お魚調査」をおこない、湖東地域三河川における結果をまとめます。

広報活動



会員からの情報を発信する「フォーラム通信」および、情報交流誌「エコトピア」をそれぞれ年3回程度発行していきます。

また昨年に引き続きホームページを公開していきます。

このほかにも会員同士の交流を図る事業や環境学習会なども企画していきたいとおもいます。

ご協力いただける方は事務局までご連絡ください。

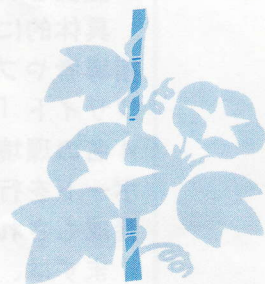
総会出席者の声

WWFが行なう地球規模の環境保全活動のすばらしさを知ることができて感動いたしました。琵琶湖の保全活動を行なうために、企業が協賛していることを知り更に感銘しました。今年度実施されるお魚調査を、是非PTAの活動に取り入れていきたいと思えます。

今までセミの抜け殻調査や環境シンポジウムに参加してきました。環境について考えるいいきっかけになったと感じています。環境については、いろんな団体が活動されているのですが、やはり参加して実際に感じる事が大切だと思います。地域に生活する人たちへの環境意識の向上を図るためにも、住民参加型のきっかけづくりの場の提供を環境フォーラム湖東に期待します。

また、環境活動団体だけではなく、企業の参画を強化し、個人会員を増やし、住民自身が環境保護できるフォーラムになるように期待します。

今回の総会に出席されていた尾田英昭さんに総会の感想と環境フォーラム湖東への期待を語っていただきました。尾田さんご協力ありがとうございました。



尾田英昭さん 彦根市PTA連絡協議会

運営委員の西尾さんの紹介で、PTA活動の中にも環境問題の取組の必要性を感じ、PTA主催の環境研修会に参加。今後は子どもたちと楽しめる環境研修会へと広がりを持たせていきたいと考えている。

「滋賀県環境学習の推進に関する条例」「滋賀県環境学習推進計画」が施行

なぜできたの？

滋賀県民は、これまで琵琶湖の富栄養化などの環境問題に積極的に取り組んできましたが、その気概をさらに発展させて、行動につながる環境学習に取り組もうという決意を表すもので、全国初の環境学習推進条例として制定されました。

また、条例第6条に基づき、環境学習の体系的・総合的および効果的な推進を図るため「滋賀県環境学習推進計画」が策定されました。

【滋賀県環境学習の推進に関する条例】

<http://www.pref.shiga.jp/d/ecolife/jourei.htm>

【滋賀県環境学習推進計画】

<http://www.pref.shiga.jp/d/ecolife/eco-study/>

何をしていくの？

「滋賀県環境学習推進計画」では、県民、校、事業者、行政等それぞれに期待される役割が示されています。

今後は、それぞれの立場で取り組む環境学習の集・発信し、得意な部分をつなげていき、進んでいくことになると考えられます。

湖東地域において、この役割を果たすのに「湖東」だといえますが、滋賀県においては「環境学習支援センター」が立ち上がりました。

拠点となる「滋賀県環境学習支援センター」がOPEN！

センターが地域で環境学習を担う人たちの情報拠点、ネットワークづくりの拠点として活用されるよう、みなさんの協力を得ながら、それぞれの取組をサポートしていきたい
(井阪 尚司)

センターの役割

条例および推進計画に基づき開設された「滋賀県環境学習支援センター」は、県内の環境学習を推進する拠点で、地域で環境学習を担う人たちを支援します。それぞれの取組の充実やネットワークづくりを支援し、各地域で多彩な学習機会が提供されることをめざしています。

具体的には、環境学習を企画する際に、県内の環境学習の指導者やプログラムの情報をすぐに調べられるように、ウェブサイト「エコロシーが」で情報提供されています。また、4名の環境学習推進員が、環境学習のプログラムづくりのサポートを行うほか、地域で環境学習の場づくりができる人材養成もされます。

まずは、滋賀県の環境学習情報満載のウェブサイト「エコロシーが」をのぞいてみましょう。

環境学習に関する
お問合せは…

連絡先 滋賀県環境学習支援センター

所在地：草津市矢橋町帰帆2108

県立水環境科学館内

TEL：077-569-4770 FAX：077-561-8666

E-mail：d h 0002@pref.shiga.lg.jp

環境学習の場や機会づくりを担う人

環境学習一リーダー養成

子どもエコクラブの普及とサポーター

滋賀らしい環境学習プログラムの検

幼児自然体験プログラム集の活用・指導

「エコ・スクール」の支援

環境学習の企画

環境学習推進員に
環境学習の企画

追い風

さまざまな環境問題を解決するためには、一人ひとりが環境と暮らしとの関わりに関心を持ち、環境保全行動につなげていくことが大切であり、持続可能な社会づくりに向けて主体的に行動できる人づくりをめざす「環境学習」が重要となってきています。

このため、滋賀県では、2004年4月に「滋賀県環境学習の推進に関する条例」が施行され、同年10月に「滋賀県環境学習推進計画」が策定されました。また、2005年6月17日には「滋賀県環境学習支援センター」も開設され、環境学習推進体制の整備が進んでいます。

そこで、今後ますます取組の重要性が高まっていく環境学習をめぐる動きについて調べてみました。

されました

地域団体・NPO、学校の展開方向が示

の内容を情報収集内容を発展させ

環境フォーラムを「滋賀県環境

個人は・・・

地域での活動への積極的な参加
環境に配慮した生活を！
学習成果の共有

地域団体は・・・

地域特性などの特長をいかした取組
環境と暮らしのつながりを考える取組
環境学習の視点による人材発掘

行政は・・・

人材発掘・育成、プログラムの整理、
情報提供など
行政分野における連携・総合的な推進
連携の仕組みづくり

学校は・・・

体験を重視した環境学習
発達段階に応じた取組
エコツーリズムの活用

事業者は・・・

講師派遣・施設開放など取組への協力
環境に配慮した産業・事業の推進
新しいライフスタイルへの新産業・事業の創出
雇用者に対する環境学習

～それぞれに期待される取組の方向～

環境学習ってなに？

条例では、「環境に関心を持ち、環境に対する自らの責任と役割を自覚し、環境に対する理解を深めるとともに、環境保全行動につなげていく意欲および問題解決に質する能力を高めるための教育および学習」と定義されています。

住民一人一人が環境のことを考えて生活できるように、自然だけでなく、廃棄物、エネルギー、文化といった社会全般についてもテーマに挙げていくことが必要です。

滋賀県環境学習支援センターが行っている事業

環境学習を支えるネットワークづくり

育成

環境学習パートナーシップ事業
環境カフェの開催、関係施設との連携

環境学習に関する情報提供

普及

プログラムづくりなどに必要な事例・人材・フィールド・教材などの情報収集と発信
ホームページ・メールマガジンの運営
ビデオなど教材の貸出

パート・コーディネーター

プログラムづくりのサポート



滋賀県の環境学習情報ウェブサイト

「エコロし〜が」 <http://www.ecloshiga.jp/>

「身近な水環境の全国一斉調査」・「お魚調査」

総会時の基調講演で水野さんから説明を受けました、WWFジャパン・ブリヂストンびわ湖生命の水プロジェクトの一環として湖東地域内でもお魚調査を行ないます。この調査に先駆けて5月21日に、お魚調査並びに、身近な水環境の全国一斉調査の調査講習会を行いました。

5月21日 調査講習会の報告

広報班 西尾満子

5月21日の土曜日。9時30分より、宇曾川に注ぐ岩倉川で水の生き物マップ調査の一環として、「お魚調査」をすることになりました。豊郷勤労者センターで受付をし、当初予定していた川の水量が多かったため、岩倉川上流へと移動をしました。

当日、晴天に恵まれ、愛知川町教育委員会が主宰する愛知川エコロジーキッズの児童50名が参加しました。参加者は河川の生き物の調査についての説明を受けた後、バケツや網を手に親子で川に入り、岩場の生き物や泳ぐ魚を捕まえ、胸まで水につかりながら夢中になって魚つかみを体験していました。

川から上がると全員でバケツの中の生き物を、多賀町立博物館学芸員の金尾滋史さんから生態の説明を受け、ザリガニ、カワムツ、ゴリ、メダカなど、魚の名前を確認し、参加者は写真入の資料と照らしあわせ、熱心に観察をしていました。



6月5日（日）身近な水環境の全国一斉調査 レポート

いきもの調査班 西澤一弘

朝から日差しの強い快晴の日よりである、水質テストの時間帯がお昼前がベストということで10時頃より河川に入る。

受け持ちとした岩倉川、上流・下流、宇曾川の上流・下流の4ヶ所のまず近くの岩倉川上流から調査する。

雨量不足で川の水が普段より極端に少ない。同伴してきた集落の小学生にマニュアルどうりサンプルの水を取り水温に合わせた時間で判定する。

CODパックテストは科学的酸素要求量を測るものと聞かすがこの地点ですぐ上流に地下2,000mからの温泉が流入しているが反応はないのだろうか？あまりにも結果が低い。

調査日は雨の少ない河川水量の乏しい時期となり、集落近くでは生活用水が希釈されることなく、テスト結果に表われた可能性がみられる。

それにしても調査時間中それらしき人は一人も見られなかったがはたしてどれだけの参加者がおられるのか心配しております。

岩倉川上流

測定時刻	AM10:00
気 温	22度
水 温	18度
COD	8

岩倉川下流に当たる 豊郷町吉田地先

測定時刻	AM10:30
気 温	22度
水 温	20度
COD	4

岩倉川のさらに下流 宇曾川の中流、新幹線上部

測定時刻	AM10:50
気 温	23度
水 温	20度
COD	3

宇曾川上流、高速道路上部

測定時刻	AM11:20
気 温	23度
水 温	20度
COD	2

彦根市環境保全指導員連絡会議

活動内容

環境保全指導員連絡会議は、彦根市が平成4年3月に策定された「生活排水推進計画」に基づき、市から認定された指導員が市内を流れる中小河川や水路の水質調査を行ったり、生活排水対策についての啓発を行っていくことを目的に発足し、水質調査に関しては今年度で6年目を迎えました。

指導員数は、平成17年4月現在において60名を超え、平成16年度調査地点についても約140地点と、会員数・地点数ともに増加となり、測定地点の拡大により詳細な結果を把握することができました。

市民環境スクール



水路の水質調査



◆市内に145の水質調査地点を設け指導員で分担し、毎月の調査を行っている。

今後の取組

平成12年から続けてきました河川水質調査結果から市内全域における水質は、全体として横ばい、または改善方向にあり、着実に生活排水対策が進んでいると思われます。しかし、地点・地域によっては、一部測定結果が上昇している箇所もあり、注意深く観察していく必要があります。このことは、活動を続けてきたことで分かったことであるといえます。

昨年の調査を終えた時点で過去5年間のデータを収集することができました。今年は、調査を継続するとともに、これまで集めたデータをもとに更に詳しく分析した「河川水質調査報告書」の作成を考えています。また、河川に住む水生生物の生息状況を河川の水質状況と比較することで、水質状況が河川の生態に及ぼす影響についても調査したいと考えています。

今後につきましては、改善・悪化した箇所双方について、指導員だけでなく、市、市民、事業者、市民団体が連携を深め、原因追求と対策を図りながら、恵み豊かなまちになるよう協働していきたいと考えております。



船上調査

◆セミナー船を利用した水質調査を行う。
調査内容
・水温 ・透視度 ・COD などの測定。

水生生物の観察



◆芹川の水生生物観察を行う。
水生生物の生息状況から河川の水質を測っている。

連絡先

彦根市役所生活環境課内
環境保全指導員連絡会議事務局
TEL 0749-30-6116

E-mail

kankyohozen@

湖東地域環境シンポジウムへのお誘い

今年も湖東地域環境シンポジウムを開催いたします。今年のテーマは「美しい芹川を守るために」です。基調講演は岐阜女子大学の吉見静子名誉教授をお招きして、地域の水資源を守るために、地域の人がどのように関わるのが良いのかを具体的にお話ししていただく予定です。ぜひみなさんご参加ください。

日時：平成17年9月3日（土）
10：00～16：00
場所：滋賀県立大学交流センター

団体紹介もあります

湖東地域環境シンポジウムにおいて普段の活動の様子などを展示していただくブースを今年も出展します。環境フォーラム湖東会員の皆さんなどの地域での活躍の様子をぜひご覧ください。



■ 次号エコトピア表紙写真の募集

環境フォーラム湖東広報部会では情報交流誌「エコトピア」の表紙に使う写真を募集しています。

自然の写真や活動風景の写真など、おもしろい写真がございましたら、ぜひデータを送ってください。

送っていただいた方の中から厳選して次号以降の表紙に使わせていただきます。

メール送信先 dc43@pref.shiga.jp

■ 新規会員募集中

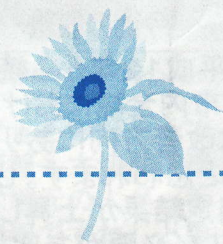
環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています。

すでに環境に関する活動をされている方から、ちょっと勉強してみたいという方や企業・市民団体のみなさんまでどなたでもお気軽に下記事務局までご連絡ください。詳しい情報をご連絡いたします。

■ 会員の皆さんへ

環境フォーラム湖東ではみなさんからの情報をお待ちしております。

イベント情報や普段の活動の様子などを情報交流誌「エコトピア」または、「フォーラム通信」、ホームページに掲載いたしますので、「他の人にも伝えたい」という情報がございましたら、下記事務局までご連絡ください。



環境フォーラム湖東 事務局

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内
- TEL 0749-27-2255
- FAX 0749-27-1688
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~forankot/>
- E-mail dc43@pref.shiga.lg.jp

編集後記

エコトピアも2年目に突入しました。今号から環境に関するいろんな情報を少しずつ載せていこうと思いい、まずは「環境学習」について調べてみました。これからもっと需要が増えてくると思われる環境学習。さらに勉強していきたいです。(山田)

- 発行 環境フォーラム湖東
- 編集責任 環境フォーラム湖東広報部会
- 平成17年8月発行